

池田地区コミュニティだより

第565号 令和7年10月1日発行（全戸配布）

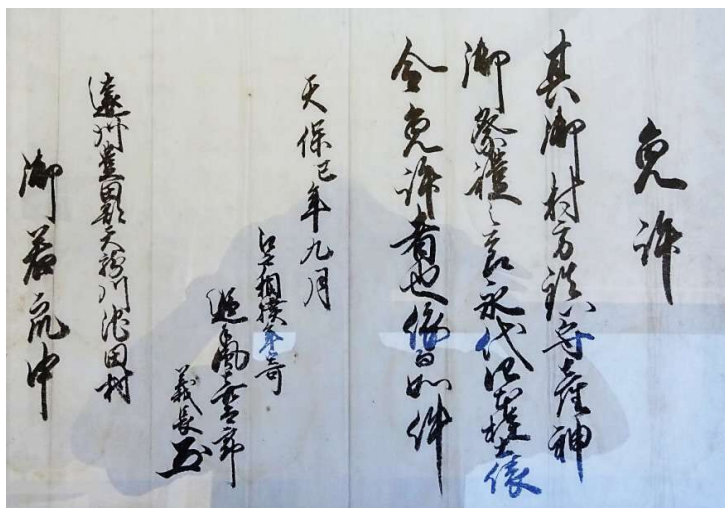
〒438-0805 磐田市池田407-1
池田まちづくり協議会
（事務局：池田交流センター内）
TEL34-4737 fax34-6353
E-mail: ikeda-koryu@tiara.ocn.ne.jp
ホームページ <http://ikeda-uk.jp>



貴重な江戸期の池田村古文書、劣化防止のため市に寄贈

現存する江戸期の「四本柱土俵免許状」 永く保存するため、管理を市に委託する

池田天白神社で9月1日、江戸時代に池田村若衆が受け取った「四本柱土俵免許状」を後世に伝えるため、市に寄贈する式典が行われました。四本柱とは、屋根付きの土俵に代わるもので、江戸時代は土俵の四隅に屋根付きの土俵を勝手に建てることは固く禁止されていました。池田村は江戸時代から祭礼の際、若衆が相撲を取るのが習わしで、天竜川東西の力自慢が集い、池田の喧嘩相撲として知れ渡っていました。免許状は、四本柱を立てることを特別に許すという内容で、1833年（天保4年）江戸相撲の年寄、追手風喜太郎が池田村に贈ったものです。この相撲の伝統が今でも池田若衆に引き継がれ、天白神社例大祭の行事として育まれています。



▲磐田市に寄贈した江戸期の「四本柱土俵免許状」



▲寄贈式を終え記念撮影する氏子総代、来賓の皆様



▲池田の喧嘩相撲の歴史を引き継ぐ式角力(昨年度)

南海トラフ巨大地震に備えて 実践的な訓練に臨む

消防団員の丁寧な指導で救出方法を体験

9月7日は南海トラフを震源域とする巨大地震を想定した総合防災訓練の日。来る来るといわれ続け、昭和50年代から始まった総合防災訓練の実施によって、静岡県は防災先進県と言われます。しかし備えは本当に万全でしょうか。阪神淡路大震災、東北大震災、熊本地震、昨年の能登半島地震をはじめ巨大地震が全国で次々と発生し、「明日は我が身」という覚悟が必要と言えます。

今回、池田地区の訓練は、日々災害に備えた訓練に励む「消防団」の指導を受けて、倒壊家屋からの救出法、すぐに役立つロープワーク、怪我人搬送法など、池田交流センターを主会場に消防団員の丁寧な指導のもと、真剣に訓練に臨んでいました。



▲ジャッキやボールを使って救出訓練を体験する様子